

不適合情報

2024年12月23日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	放射性廃棄物処理設備点検において、高電導度廃液系収集ポンプ(B)出口濃縮装置側移送配管ドレン弁およびケーシングドレン弁の前後配管が閉塞していることを確認した。当該配管を清掃。	2024/12/13	
2	3号機	原子炉格納容器空気供給用送風機の電源復旧において、小容量電源盤遮断器の電源投入ハンドルが所定の位置で固定できないことを確認した。当該遮断器機構部の油脂の劣化および潤滑機能の低下による動作不良と推定。当該機構部を点検・修理。	2024/12/11	
3	5号機	放射性廃棄物処理設備制御室において、制御用コントローラ盤制御装置故障および多重伝送現場盤異常警報の発生を確認した。電源ユニット内の部品の劣化によるものと推定。当該ユニットを代替品と交換。	2024/12/13	
4	5号機	大湊側補助ボイラー(4A)缶体上部マンホールの配管保温材の隙間から、蒸気が漏えいしていることを確認した。ボイラーの運転を4Aから4Bに切り替え。当該箇所を点検・修理。	2024/12/17	
5	5号機	放射性廃棄物処理設備高電導度廃液系放出カナル(汚染のない水の放出系統)流量調節弁に空気の排出音を確認し、流量調節弁が放出操作を行っていないにもかかわらず開閉動作していることを確認した。調査の結果、多重伝送盤の信号入出力装置(ユニット1スロットB)の警報ランプが点灯していたことから基板の故障と推定。当該装置を点検・修理。なお、流量調節弁前後の弁は開動作していないため、系外放出がなかったことを確認済み。	2024/12/18	
6	6号機	停止中の放射性廃棄物処理設備高電導度廃液系濃縮装置加熱器蒸気入口温度が高いことを確認した。調査の結果、濃縮装置蒸気入口弁のシートパスと判明。当該弁を点検・修理。	2024/12/16	
7	7号機	非常用ディーゼル発電機(C)の発電機軸受温度が上昇傾向であることを確認した。調査の結果、潤滑油プライミングポンプ吸込温度計スイッチ接点の動作不良と推定。当該温度計を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/12/17	